



月日が経つのは早いもので、東日本大震災から4年が経ちました。東北や液状化等の被害を受けた千葉市を含めた被災地復興は道半ばです。震災前から取り組んでいた、防災トイレを初めとした紙面にある、政策の多くを現実にしました。今回はそれらの取り組みについてご報告させていただきます。引き続き取り組むべき課題については、今後とも議会活動を通して実現に向け努力すると共に、皆様の声に耳を傾け、新たな提案もし続けて参ります。

### 行動派宣言!

皆様のご意見を議会で取り上げました。 2015 ISSUE Of KOMATSUZAKI FUMIYOSHI Vol.60

この4年間で地元の皆様・同僚議員の協力を実現した政策(公約)に対する実績・取り組みの一部をご紹介します。

想定外を対応可能に!!

災害や突然の事象に対して想定外を無くす、という事は不可能ですが、出来る限りの準備で、ダメージを最少にする市政に努めます。

#### 1. 安心・安全に暮らせる街づくり(防災・防犯対策)

##### 地域コミュニティ支援による防災・防犯・介護予防の充実

- ・介護予防の為、いきいき外出支援制度創設(研修の為の高齢者団体でのバス貸し切りに補助)
- ・あんしんケアセンターの12箇所増設(稲毛区では、稲毛・小仲台センターの2箇所を増設)
- ・災害での停電時にも使用可能なマンホールトイレ設置(今年度草野小にも設置)  
(4年前4校→34校に設置。稲毛区では都賀・山王・千草台・弥生・宮野木小学校に設置済み)
- ・防災倉庫の都市公園設置基準の緩和(400㎡以上の基準撤廃により小さい公園にも設置可能に)
- ・自治会自主防災会への防災備品再購入への補助実現  
(自主防災設立時のみ→2度目も可能に。私の推奨は発電機)



LPガス発電機

##### 住宅建替え・耐震化、災害時避難場所確保、冠水対策の強化

- ・黒砂地区の新港・横戸町線脇に運動広場の設置  
(避難所として、また防球ネットの設置により球技も可能になりました)
- ・国道357号線を境に建築絶対高度制限がかかりました、住宅地に突然の高層住宅建設は問題であり、制限されました。(海岸地区31M《約11階》、内陸部20M《約5階》)一方、敷地に余裕のある団地等については建て替え要件は緩和され、今まで通りの高度の規制となり、再建築には適用されなくなりました。
- ・老朽化した中高層住宅の建て替え支援の強化  
上限は計画費用50万円・工事設計費用1戸あたり100万円(耐震化、バリアフリー化促進、空き家防止の為)コンクリートの集合住宅の耐用年数は、通説70年ですが、50年を超えると大規模修繕費用は大幅に増加します。区分所有者で真剣な話し合いが必要です。



2度目の再建築で6階以上の住民の部屋が奪われなくなりました。

#### 2. 健やかな子ども達を育てる環境育成(教育・少子化対策)

##### 少子化対策拡充・日本の心と伝統を守り教育環境の充実

- ・史実を伝える教科書の採択を来年度に控え提言(従軍慰安婦の国家関与を否定する陳情を採択)
- ・老朽化した保育所の民営化による定員増で待機児童緩和と市費縮減(民営化により寒川保育園は定数増と共に、建て替え。千葉市負担分を大幅縮減)

	H22. 4. 1	H26. 4. 1	増減
保育所数	105	131	26
定員数	10,618	12,274	1,656
待機児童数	324	0	△324



長沼原保育所:民営化すれば補修費用の市費(約6600万円)で新築出来ました。

##### ・学童保育の拡充(4年間で5箇所650人分の定員増)

- (稲毛区では緑町・小中台南・山王小を校外から敷地内に移転4年生対応を3箇所増設)
- ・小中学校の対外部侵入者用防犯カメラを17校で増設(稲毛区では山王・都賀小、轟中学校に設置)
- ・全小中学校の耐震化完了・老朽化校舎の改善(稲毛区ではあやめ台小校舎大幅改修中。山王・都賀小、轟中学校耐震化完了、緑町小は建て替え完了)
- ・言葉の教室を7箇所、聞こえの教室の備品を拡充  
(吃音等生徒が遠い教室に通うと週1回1日全て、欠席となる負担を軽減、稲毛区ではあやめ台小に増設。難聴対応の機材の充実)